

令和5年度都立練馬工科高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	<p>・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実</p>	<p>・4月の基礎学力診断テストやクラス分けテストなどを分析し、年間指導計画を確認する。 ・教科書の教材に沿って、年間を通して国語力の向上を目指す・各科目ごとに、授業内にて「漢字小テスト等」を実施し、語彙力を培う。</p>	<p>・教科書教材の文章を通読した後、新出漢字等の漢字の読み・書きをじっくり確認する。 ・文章中の語句の意味を、辞書等を用いて確認させながら、知識の定着を図る。 ・小説教材は、文章中の時間がどのように流れているか、表現にどのような特徴があるか等を探し出させる。</p>
数学	<p>数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度を養う。</p>	<p>・4月の基礎学力診断テストやクラス分けテストなどを分析し、年間指導計画を確認する。 ・ICTを活用して、理解を促進 ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施</p>	<p>・既習事項だけでなく、工業科の授業や日常生活との関連について触れる授業を実施する。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施</p>
英語	<p>英語を積極的に声に出すこと、英語を自ら進んで読んで理解しようとする指導の充実</p>	<p>・4月の基礎学力診断テストやクラス分けテストなどを分析し、年間指導計画を確認する。 ・中学校での既習事項を中心に、授業で復習や学び直しの機会を提供する ・全ての授業で「話すこと」についての活動を実施</p>	<p>・外国人指導員を積極的に活用し、毎回の授業で英語で会話できるよう指導していく。 ・TGG後に体験に基づくスピーチテストの実施</p>
工業技術基礎	<p>各分野の特徴が理解できるよう、分野ごとの基本的な作業学ばせる。</p>	<p>・4月当初、キャリア技術委員会を開き、各分野についての指導方法等に確認 ・基本的な工具の使い方や基礎的な加工方法や生徒に測定方法を繰り返し指導し、身に付けさせる。</p>	<p>・2年生の専門選択(機械系・電気系・デザイン工芸系)や3年生の系列選択につながるような指導に行う。</p>
工業情報数理	<p>情報技術に関する基礎的な知識と技術を身につけている。</p>	<p>情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組ませている。</p>	<p>問題解決方法を適切に判断する能力を身につけ、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。</p>